

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2020年2月6日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

<投資家・アナリスト向け>

富士フイルムホールディングス株式会社 2020年3月期 第3四半期決算について、説明させていただきます。

2020年3月期第3四半期(9カ月) 決算発表のポイント

9カ月累計業績：

- ・営業利益が前年比▲4.2%、為替影響を除くと同+2.9%の増益
- ・株主帰属四半期純利益が同+19.4%で、通期ROE8.0%達成に向け順調に進捗

事業別 業績 (前年比)	売上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全体では、為替円高と中国景気減速の影響に加え、イメージングの販売減、ドキュメントの欧米向け輸出の減少などにより減収となるも、メディカルシステム事業などがけん引し、ヘルスケアは増収
	営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ヘルスケアがメディカルシステム事業、再生医療事業の増収などにより増益 ✓ ドキュメントが収益性の改善や構造改革効果により増益 ✓ イメージングが減収により減益
特記 事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日立製作所の画像診断関連事業の買収を発表(2019年12月18日) ✓ 富士ゼロックスが2021年4月より「富士フィルム ビジネス イノベーション」に社名変更する旨を発表(1月6日) ✓ 500億円を上限とする自己株式取得は、1月末時点で188億円実施 	

2020年3月期 第3四半期決算について、ポイントを説明します。

2020年3月期 第3四半期の業績は

営業利益が前年比4.2%の減益、為替影響を除くと2.9%の増益となりました。

株主帰属四半期純利益は前年比19.4%の増益で、通期ROE目標8.0%の達成に向けて順調に進捗しています。

売上は、全体では為替円高に加えて、中国の景気減速や国内の消費増税による消費冷え込みの影響を受け、減収となりました。

イメージングとドキュメントは減収、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業がけん引したことでヘルスケアが増収となりました。

営業利益は、イメージングとマテリアルズは減益となった一方で、ヘルスケアは増益、収益性の改善や構造改革効果によりドキュメントも増益となりました。

特記事項として、

昨年12月に日立製作所の画像診断関連事業の買収を発表しました。競争法規制当局のクリアランス取得などを経て、2020年7月の買収完了を予定しています。

また、本年1月に、2021年4月より富士ゼロックスの社名を「富士フィルム ビジネス イノベーション」に変更することを発表いたしました。

500億円を上限とする自己株式の取得状況は、1月末時点で188億円です。

2020年3月期 第3四半期 業績 (2019年4月~12月)

(単位：億円)

	9ヵ月累計				
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	為替影響	為替影響除く
売上高	17,998 100.0%	17,284 100.0%	-714 -4.0%	-388	-326 -1.8%
営業利益	1,583 8.8%	1,516 8.8%	-67 -4.2%	-114	47 +2.9%
税金等調整前 四半期純利益	1,546 8.6%	1,665 9.6%	119 +7.7%	-104	223 +14.5%
当社株主帰属 四半期純利益	1,011 5.6%	1,207 7.0%	196 +19.4%	-72	268 +26.5%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	236.96円	294.76円	57.80円	<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響：+30億円	
為替：米ドル ：ユーロ	111円 129円	109円 121円	2円高 8円高		

3

2020年3月期 第3四半期の業績は、
 売上高は、前年比4.0%減の1兆7,284億円、
 営業利益は、前年比4.2%減の1,516億円となりました。
 税金等調整前四半期純利益は、
 持分証券評価益の計上などにより、前年比7.7%増の1,665億円、
 当社株主帰属四半期純利益は、前年比19.4%増の1,207億円となりました。

セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位: 億円)

売上高	9ヶ月		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	3,038	2,661	-377 (-12.4%)	-97	-280 (-9.2%)
ヘルスケア	3,429	3,508	79 (+2.3%)	-79	158 (+4.6%)
ヘルスケア&マテリアルズ	7,589	7,412	-177 (-2.3%)	-164	-13 (-0.2%)
ドキュメント	7,371	7,211	-160 (-2.2%)	-127	-33 (-0.5%)
合計	17,998	17,284	-714 (-4.0%)	-388	-326 (-1.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益	9ヶ月		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
イメージング	480	274	-206 (-42.8%)	-40	-166 (-34.5%)
ヘルスケア	174	200	26 (+14.2%)	-18	44 (+24.6%)
ヘルスケア&マテリアルズ	700	708	8 (+1.1%)	-38	46 (+6.5%)
ドキュメント	669	805	136 (+20.3%)	-37	173 (+25.8%)
全社/連結調整	-266	-271	-5	1	-6
合計	1,583	1,516	-67 (-4.2%)	-114	47 (+2.9%)

続いて、セグメント別の状況について説明します。

イメージング ソリューション部門は、

カラーペーパーやインスタントフォトシステム、デジタルカメラの販売減などにより、

売上高は、前年比12.4%減の2,661億円、

営業利益は、前年比42.8%減の274億円となりました。

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション部門は、

主にグラフィックシステム事業の刷版材料の需要減やディスプレイ材料事業において液晶パネルの生産調整が継続した影響などにより、

売上高は、前年比2.3%減の7,412億円、

営業利益は、前年比1.1%増の708億円となりました。

同部門のうち、ヘルスケアは

メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業が伸長し、

売上高は、前年比2.3%増の3,508億円、

営業利益は、前年比14.2%増の200億円となりました。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、

欧米向け輸出の減少、中国での販売減などにより

前年比2.2%減の7,211億円、

営業利益は、収益性の改善や構造改革効果により

対前年20.3%増の805億円となりました。

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
2,661	-377 (-12.4%)	274	-206 (-42.8%)

(単位：億円)

- ・ フォトイメージングでは、カラーペーパーの販売減に加えて、上期にインスタントフォトシステムで米国の一部リテーラーでの在庫調整などにより売上は減少。第3四半期のインスタントカメラの販売は、クリスマス商戦期での主要リテーラーにおけるセルスルーが対前年増加。2019年6月に発売したハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay」や10月に発売した「instax mini Link」を中心に拡販を進める。
- ・ 電子映像では、市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの売上が減少。2019年11月発売のフラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro3」や今月販売を開始する「FUJIFILM X-T200」で販売を強化。
- ・ 光学デバイスでは、主に中国景気の減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受け、売上は減少。プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」や4K対応放送用レンズ「FUJINON UA107×8.4BESM AF」など、新製品のラインアップ強化により、事業成長を図る。

売上は、インスタントフォトシステムやミラーレスデジタルカメラの販売減の影響などで減収。営業利益は、減収により減益。

イメージング ソリューション部門について説明します。

フォトイメージングは、カラーペーパーの販売減少や、インスタントフォトシステムで上期に米国の一部リテーラーにおける在庫調整の影響があったことなどにより、売上は減少しました。第3四半期のインスタントカメラの販売は、国内では消費増税による消費冷え込みの影響を受けました。欧米では、市中在庫調整のためセルインは対前年減少しましたが、クリスマス商戦期での主要リテーラーにおけるセルスルーは対前年増加しています。「instax mini LiPlay」やスマートフォン用プリンター「instax mini Link」などの魅力ある新製品を中心に拡販を進めます。

電子映像は市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの販売減などにより、売上が減少しました。一方で、世界最高1億2百万画素のラージフォーマットセンサーを搭載したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100」や昨年11月発売の「Xシリーズ」のフラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro3」などの販売は堅調に推移しました。今月に販売を開始する新製品「FUJIFILM X-T200」などで販売を強化していきます。

光学デバイスでは、主に中国景気減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受けて売上は減少しました。「FUJINONレンズ」の光学技術を結集した「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」や今年3月に販売を開始する、4K Premier シリーズで、世界で初めてAF(オートフォーカス)機能を搭載した4K対応放送用レンズなど、新製品のラインアップ強化により事業成長を図っています。

イメージング ソリューション部門は、対前年で売上高は減少、営業利益は減収や為替影響などにより、減益となりましたが、業績目標の達成に向け、独自技術を駆使した競合優位性の高い製品の提供や効果的なプロモーションの展開により、販売を強化していきます。

セグメント別 概況

■ ヘルスケア&マテリアルズ
ソリューション

		(単位:億円)	
売上高	対前年度	営業利益	対前年度
7,412	-177 (-2.3%)	708	8 (+1.1%)

- ・ メディカルシステムは、医療ITや内視鏡などの分野で販売が好調に推移。バイオCDMOは、M&Aや設備増強によりバイオ医薬品の開発・製造受託が好調に推移。再生医療は、FUJIFILM Irvine Scientific の培地販売が好調で、売上が増加。
- ・ ディスプレイ材料は、液晶パネルの生産調整などの影響で売上が減少したが、有機EL 向けなどの新製品販売が堅調に推移。
- ・ 電子材料は、先端フォトリソ周辺材料などが市場影響を受けたが、イメージセンサー用カラーレジストなどの販売は堅調に推移。
- ・ 記録メディアは、大容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が好調に推移。
- ・ グラフィックシステムは、刷版材料の需要減により売上は減少。

売上は、全体では減少となるも、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業がけん引し、ヘルスケアが増収。営業利益は、ヘルスケアの収益性の改善により増益。

続いて、ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門です。

ヘルスケアのうち、
メディカルシステムは、医療ITや内視鏡、体外診断などの分野で販売が好調に推移しました。バイオCDMOは、2019年8月に連結子会社化したバイオジェンの製造子会社や設備増強によってバイオ医薬品のプロセス開発受託および製造受託が増加しました。再生医療は、「FUJIFILM Irvine Scientific」のバイオ医薬品向けの培地販売が好調で、売上が増加しました。

高機能材料のうち、
ディスプレイ材料は、液晶パネル生産調整の影響を受けて減収となったものの、有機EL向けなどの新製品販売が堅調に推移しました。
電子材料は、フォトリソ周辺材料などの先端製品は市場影響を受けましたが、イメージセンサー用カラーレジストなどの販売が堅調で、売上は前年並みとなりました。
記録メディアは、「FUJIFILM LTO Ultrium8 データカートリッジ」などの大容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が増加しました。

グラフィックシステムでは、刷版材料の需要減により売上は減少、インクジェットでは、主に産業用インクジェットヘッドの販売が中国の景気減速などの影響を受け、売上は減少しました。

ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門は、全体では減収となりましたが、メディカルシステム事業やバイオCDMO事業、再生医療事業などで売上が増加。営業利益は、ヘルスケアの収益性改善などにより増加しました。

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
7,211	-160 (-2.2%)	805	136 (+20.3%)

(単位：億円)

- オフィスプロダクト分野は、欧米向け輸出および中国での販売が減少したものの、国内で堅牢なセキュリティ環境を実現するカラー複合機のフラッグシップモデル「ApeosPort-VII C」シリーズの販売が好調に推移。
- プロダクションサービスは、全体の販売台数が増加。国内および欧米向け輸出において、高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」などの販売が好調。
- ソリューション&サービスは、国内で、オフィスのIT環境の構築、運用などを一括してサポートするサービスが伸長し、売上が好調に推移。

欧米向け輸出および中国での販売減少により
減収も、収益性の改善や構造改革の効果により増益

最後に、ドキュメント ソリューション部門について説明します。

オフィスプロダクト&プリンターのオフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出および中国での販売が減少したものの、国内で堅牢なセキュリティ環境を実現するカラー複合機のフラッグシップモデル「ApeosPort-VII C」シリーズの販売が好調に推移しました。

プロダクションサービスは、全体の販売台数が増加。国内および欧米向け輸出において、カラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」などの販売が伸長しました。

ソリューション&サービスは、国内でオフィスのIT環境の設計・導入・運用・管理を一括してサポートするサービスの販売が伸長したことにより、売上が好調に推移しました。お客様の業務効率化や生産性向上を支援するサービスを順次提供し、サービス領域での更なる成長を目指します。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、中国の景況感の悪化や欧米向け輸出の減少などを受けて減収となりましたが、営業利益は、収益性の改善や構造改革の効果などにより、大幅増益となりました。引き続き、ソリューション&サービス、プロダクションサービスなど成長領域の拡大に努めるとともに、構造改革を進め、収益性を高めていきます。

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 12月末	対19年 3月期末		18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 12月末	対19年 3月期末
現金 及び現金同等物	7,682	6,547	4,575	-1,972	長短社債 及び借入金	4,542	5,241	6,634	1,393
受取債権	6,191	6,178	5,716	-462	支払債務	2,485	2,384	2,359	-25
棚卸資産	3,613	3,745	4,114	369	その他流動 固定負債	4,915	4,073	4,562	489
その他流動資産	1,122	839	1,535	696	負債計	11,942	11,698	13,555	1,857
流動資産計	18,608	17,309	15,940	-1,369	株主資本計	20,791	20,370	20,559	189
有形固定資産	5,375	5,268	5,938	670	非支配持分	2,196	2,079	395	-1,684
営業権	5,916	6,555	6,950	395	純資産計	22,987	22,449	20,954	-1,495
その他固定資産	5,030	5,015	5,681	666	負債・純資産 合計	34,929	34,147	34,509	362
固定資産計	16,321	16,838	18,569	1,731	(単位：円)				
資産合計	34,929	34,147	34,509	362	期末日 為替レート	18年 3月期末	19年 3月期末	20年3月期 12月末	対19年 3月期末
					米ドル	106	111	110	1円高
					ユーロ	131	125	123	2円高

8

次に、バランスシートについて説明します。

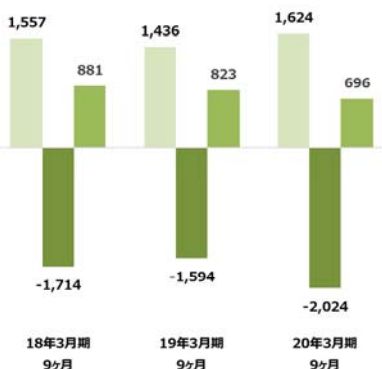
2020年3月期12月末時点の資産合計は、
2019年3月期末時点と比べ、362億円増の3兆4,509億円となりました。

負債は、社債および借入金の増加などにより、1,857億円増の1兆3,555億円、株主資本は189億円増の2兆559億円となりました。

流動比率は前期末と比べ49.0ポイント減の197.5%、負債比率は8.5ポイント増の65.9%、株主資本比率は0.1ポイント減の59.6%となりました。

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）
 (単位：億円)



	(単位：億円)		
	18年3月期 9ヶ月	19年3月期 9ヶ月	20年3月期 9ヶ月
四半期純利益	1,339	1,144	1,335
減価償却費	953	956	918
受取債権の増(-)減(+)	478	203	435
棚卸資産の増(-)減(+)	-351	-412	-382
営業債務の増(+)減(-)	-306	-60	65
その他	-556	-395	-747
営業活動によるC F	1,557	1,436	1,624
設備投資	-484	-471	-648
ソフトウェアの購入	-124	-137	-152
投資有価証券の売却・購入等	231	-138	-37
事業買収	-1,269	-843	-1,059
その他	-68	-5	-128
投資活動によるC F	-1,714	-1,594	-2,024
フリー・キャッシュ・フロー	-157	-158	-400
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー	881	823	696

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および有価証券・投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

9

続いて、キャッシュ・フローについて説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,624億円の収入となり、前年に対して188億円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、事業買収などにより、2,024億円の支出となりました。

この結果、事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フローは、696億円の収入となりました。

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

富士ゼロックスにおける構造改革

10

次に、富士ゼロックスにおける構造改革について、進捗をご報告いたします。

富士ゼロックスにおける構造改革

(単位：億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	2021年3月期 計画	合計
構造改革費用等 一時費用	700	161	100	20	981
効果	0	310	180	60	550

2020年3月期	1Q実績	2Q実績	3Q実績	9ヵ月累計	通期予想
構造改革費用等 一時費用	41	4	34	79	100
効果	83	38	30	151	180

2020年3月期9ヵ月の構造改革は
計画通り順調に進捗

2020年3月期 第3四半期累計の構造改革費用等一時費用は79億円、効果は151億円となり、計画通り順調に進捗しています。

以上、2020年3月期 第3四半期決算についてご説明いたしました。

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

2020年3月期 業績予想

2020年3月期の連結業績予想について説明します。

2020年3月期 連結業績予想 (2020年2月6日時点)

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年 3月期 前回予想	2020年3月期	対前年度	対前回予想
売上高	24,315 100%	24,350 100%	23,700 100%	-615 -2.5%	-650 -2.7%
営業利益	2,098 8.6%	2,400 9.9%	過去 最高 2,200 9.3%	102 +4.8%	-200 -8.3%
税金等調整前 当期純利益	2,128 8.8%	2,450 10.1%	過去 最高 2,300 9.7%	172 +8.1%	-150 -6.1%
当社株主帰属 当期純利益	1,381 5.7%	1,620 6.7%	過去 最高 1,650 7.0%	269 +19.5%	30 +1.9%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	326.81円	395.72円	403.04円	+76.23円	+7.32円
ROE	6.7%	8.0%	8.0%	+1.3%	+0.0%
為替：米ドル	111円	108円	109円	2円高	1円安
：ユーロ	128円	122円	121円	7円高	1円高
銀価格 (/kg)	55,000円	56,000円	59,000円	+4,000円	+3,000円

* 2020年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円 ユーロ：8億円

13

第3四半期業績は、中国景気減速の進行や国内の消費増税による消費冷え込みと想定以上の反動減によって計画に届きませんでした。

第4四半期は、今後のドキュメント事業との連携を視野に入れたグラフィック・インクジェット事業の体質強化のための資産圧縮を見込み、上期に発表しました業績予想を修正します。

売上高は、前回予想から650億円修正し、2兆3,700億円にします。

営業利益は、グラフィック・インクジェット事業における資産圧縮に加え、医薬品・再生医療事業での導出時期の延期などで、

前回予想から2,200億円に修正しますが、過去最高益を確保します。

税金等調整前当期純利益は2,300億円に修正します。

当社株主帰属当期純利益は、前回予想から30億円上方修正し、過去最高益の1,650億円にします。

また、ROEは2021年3月期に目標としていた8.0%を1年前倒して達成します。

株主還元につきましては、500億円を上限とする自己株式取得を進め、今年度中に完了する予定です。

2020年3月期の配当金は、対前年15円増配の一株当たり95円を予定しています。

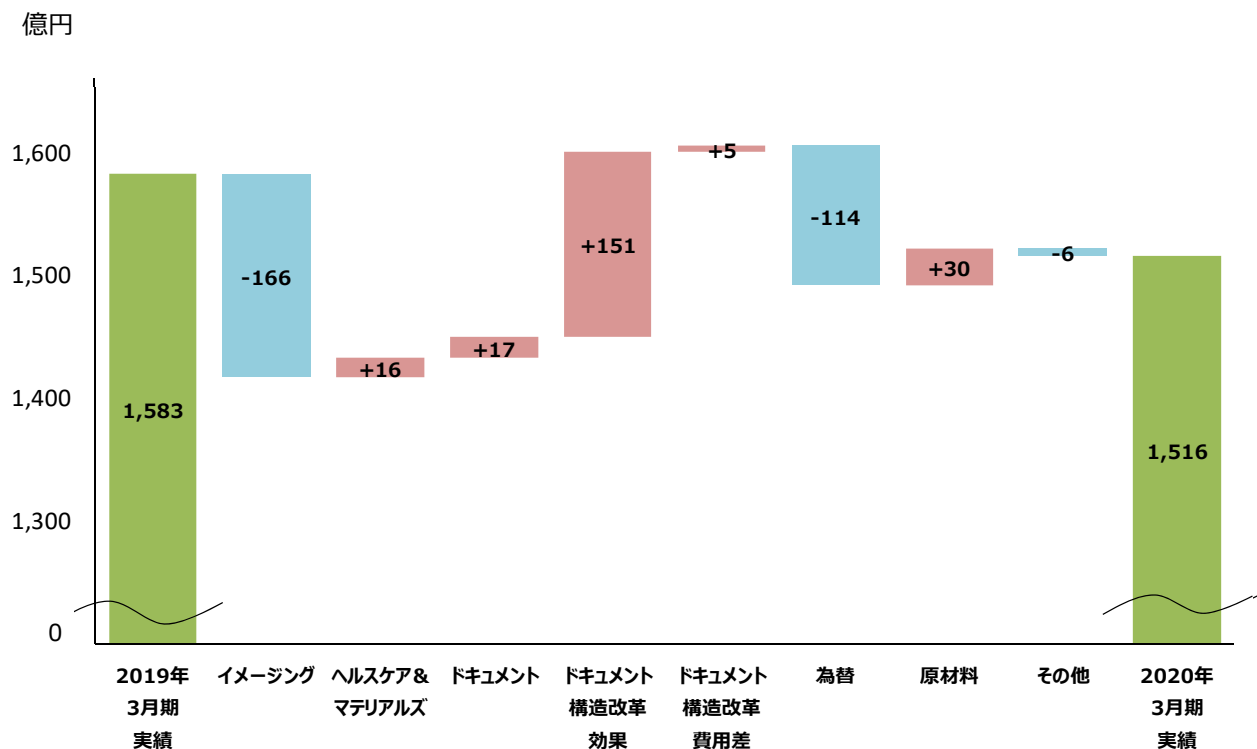
以上、2020年3月期通期業績予想についてご説明いたしました。

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

参考資料

2020年3月期 第3四半期 決算説明会 参考資料

営業利益増減分析(対前年9ヵ月累計実績)



3Q/9か月 業績

(単位：億円)

	3Q			9か月累計		
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期
売上高	6,271 100.0%	5,963 100.0%	-308 -4.9%	17,998 100.0%	17,284 100.0%	-714 -4.0%
営業利益	744 11.9%	596 10.0%	-148 -19.9%	1,583 8.8%	1,516 8.8%	-67 -4.2%
税金等調整前 四半期純利益	558 8.9%	690 11.6%	132 +23.8%	1,546 8.6%	1,665 9.6%	119 +7.7%
当社株主帰属 四半期純利益	356 5.7%	596 10.0%	240 +67.4%	1,011 5.6%	1,207 7.0%	196 +19.4%
為替：米ドル	113円	109円	4円高	111円	109円	2円高
：ユーロ	129円	120円	9円高	129円	121円	8円高

<その他増減要因(3Q/9か月 対前年度)> 営業利益 原材料：+11億円 / +30億円

16

3Q/9か月 業績

(単位：億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
イメージング	1,279	1,120	-159 (-12.4%)	3,038	2,661	-377 (-12.4%)
ヘルスケア	1,195	1,204	9 (+0.8%)	3,429	3,508	79 (+2.3%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,599	2,485	-114 (-4.4%)	7,589	7,412	-177 (-2.3%)
ドキュメント	2,393	2,358	-35 (-1.5%)	7,371	7,211	-160 (-2.2%)
合計	6,271	5,963	-308 (-4.9%)	17,998	17,284	-714 (-4.0%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
イメージング	264 [20.6%]	173 [15.4%]	-91 (-34.5%)	480 [15.7%]	274 [10.3%]	-206 (-42.8%)
ヘルスケア	150 [12.5%]	89 [7.3%]	-61 (-41.3%)	174 [5.1%]	200 [5.7%]	26 (+14.2%)
ヘルスケア&マテリアルズ	325 [12.5%]	258 [10.4%]	-67 (-20.7%)	700 [9.2%]	708 [9.6%]	8 (+1.1%)
ドキュメント	236 [9.9%]	256 [10.9%]	20 (+8.1%)	669 [9.0%]	805 [11.2%]	136 (+20.3%)
全社/連結調整	-81	-91	-10	-266	-271	-5
合計	744 [11.9%]	596 [10.0%]	-148 (-19.9%)	1,583 [8.8%]	1,516 [8.8%]	-67 (-4.2%)

17

3Q/9か月 業績

イメージングソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	908	830	-78 (-8.7%)	-46 (-5.2%)	2,037	1,835	-202 (-10.0%)	-138 (-6.8%)
電子映像	266	207	-59 (-21.7%)	-50 (-18.4%)	707	577	-130 (-18.3%)	-104 (-14.6%)
光学デバイス	105	83	-22 (-20.2%)	-19 (-17.3%)	294	249	-45 (-15.2%)	-38 (-12.8%)
光学・電子映像	371	290	-81 (-21.3%)	-69 (-18.1%)	1,001	826	-175 (-17.4%)	-142 (-14.1%)
合計	1,279	1,120	-159 (-12.4%)	-115 (-8.9%)	3,038	2,661	-377 (-12.4%)	-280 (-9.2%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

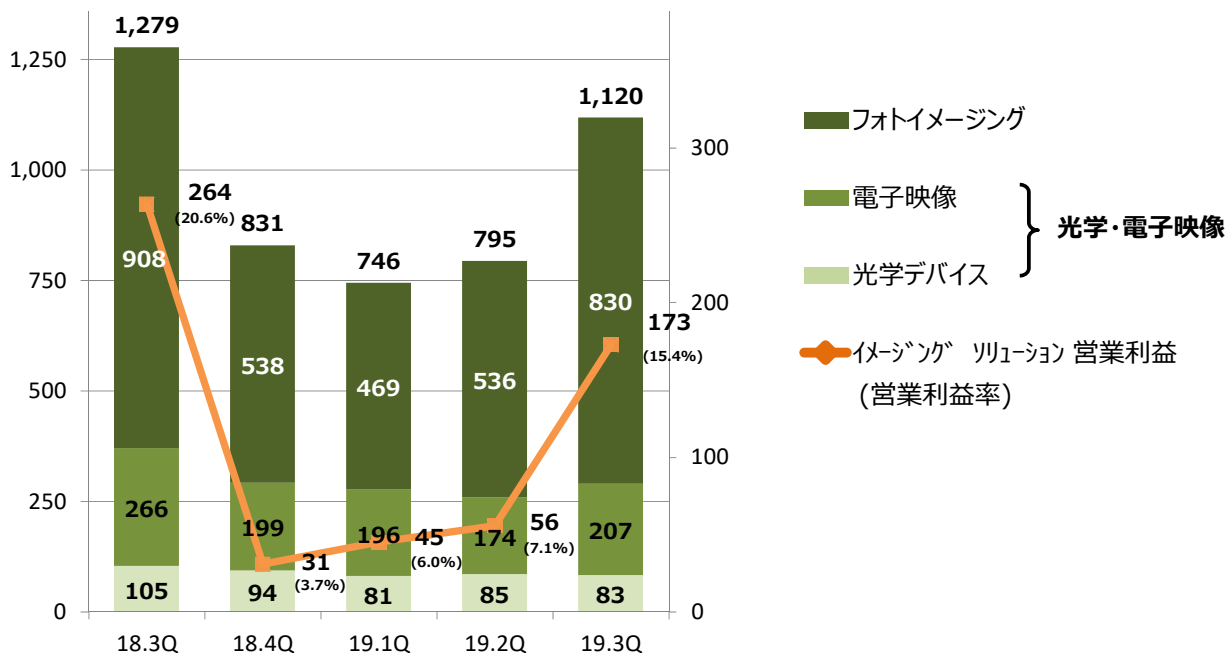
営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
イメージング	264 [20.6%]	173 [15.4%]	-91 (-34.5%)	-76 (-29.0%)	480 [15.7%]	274 [10.3%]	-206 (-42.8%)	-166 (-34.5%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

イメージングソリューション (単位：億円)

売上高

営業利益



3Q/9か月 業績

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	1,195	1,204	9 (+0.8%)	37 (+3.2%)	3,429	3,508	79 (+2.3%)	158 (+4.6%)
ディスプレイ材料	263	215	-48 (-18.4%)	-48 (-18.4%)	770	677	-93 (-12.1%)	-93 (-12.1%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	467	447	-20 (-4.3%)	-6 (-1.4%)	1,344	1,299	-45 (-3.3%)	-15 (-1.1%)
高機能材料	730	662	-68 (-9.4%)	-54 (-7.5%)	2,114	1,976	-138 (-6.5%)	-108 (-5.1%)
記録メディア	92	92	0 (+0.1%)	4 (+4.2%)	272	324	52 (+19.0%)	60 (+21.9%)
グラフィックシステム/インクジェット	578	525	-53 (-9.4%)	-36 (-6.4%)	1,764	1,595	-169 (-9.6%)	-122 (-7.0%)
その他	4	2	-2	-2	10	9	-1	-1
合計	2,599	2,485	-114 (-4.4%)	-51 (-2.0%)	7,589	7,412	-177 (-2.3%)	-13 (-0.2%)

*セグメント間取引消去後

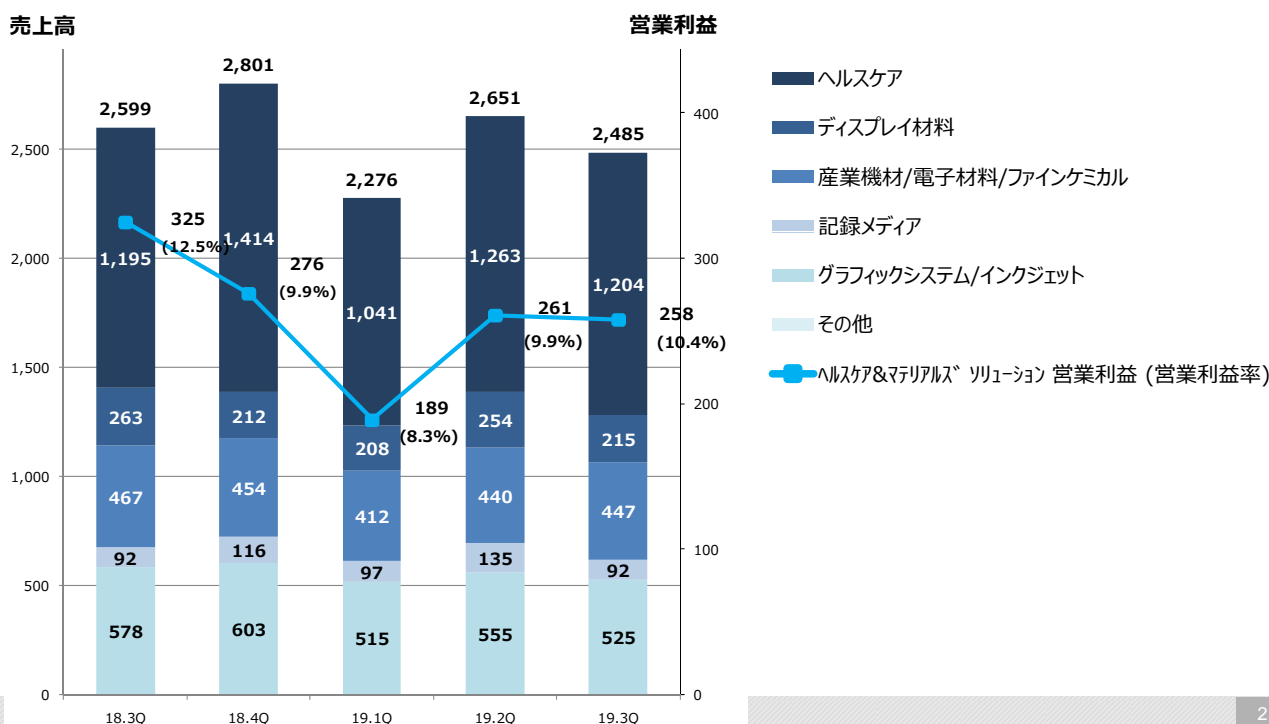
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	150 [12.5%]	89 [7.3%]	-61 (-41.3%)	-61 (-41.3%)	174 [5.1%]	200 [5.7%]	26 (+14.2%)	44 (+24.6%)
ヘルスケア&マテリアルズ	325 [12.5%]	258 [10.4%]	-67 (-20.7%)	-58 (-17.9%)	700 [9.2%]	708 [9.6%]	8 (+1.1%)	46 (+6.5%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)



3Q/9か月 業績

■ ドキュメントソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q					9ヶ月						
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		為替影響除く		
オフィスプリンター	315	290	-25	(-8.1%)	-19	(-5.9%)	942	891	-51	(-5.4%)	-40	(-4.2%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,393	1,334	-59	(-4.3%)	-32	(-2.3%)	4,256	4,065	-191	(-4.5%)	-129	(-3.0%)
プロダクションサービス	291	296	5	(+2.0%)	12	(+4.4%)	907	884	-23	(-2.5%)	-4	(-0.4%)
ソリューション&サービス	600	652	52	(+8.8%)	64	(+10.8%)	1,843	2,018	175	(+9.5%)	211	(+11.5%)
その他	109	76	-33		-28		365	244	-121		-111	
合計	2,393	2,358	-35	(-1.5%)	16	(+0.6%)	7,371	7,211	-160	(-2.2%)	-33	(-0.5%)

*セグメント間取引消去後

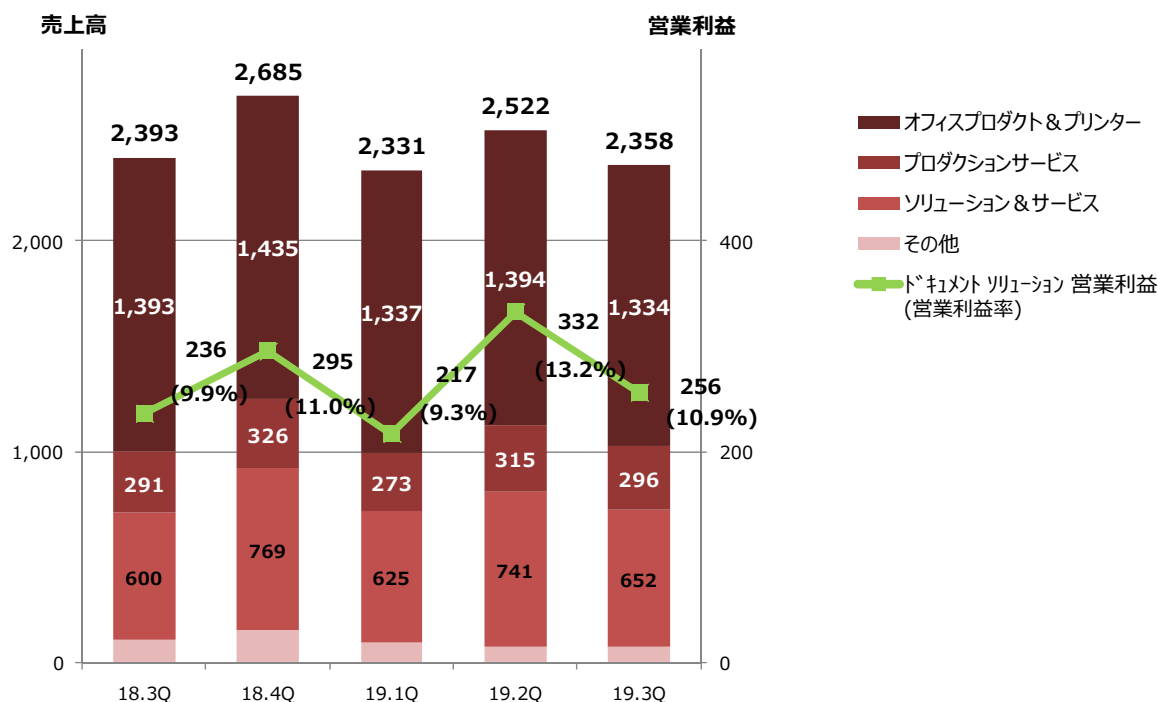
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q					9ヶ月						
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		為替影響除く		
ドキュメント	236 [9.9%]	256 [10.9%]	20	(+8.1%)	29	(+12.2%)	669 [9.0%]	805 [11.2%]	136	(+20.3%)	173	(+25.8%)

22

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメントソリューション (単位：億円)



23

国内・海外別連結売上高

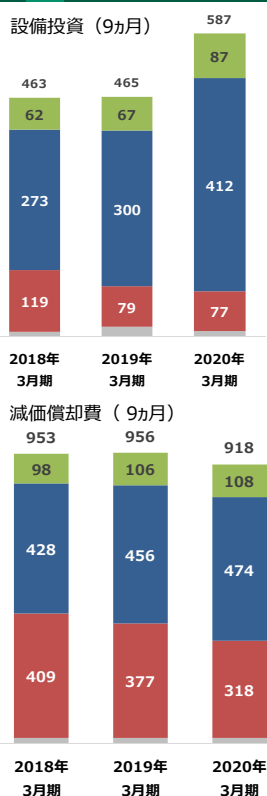
(単位：億円)

	2019年3月期 9ヶ月		2020年3月期 9ヶ月		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	40.3%	7,247	42.3%	7,305	58	(+0.8%)
米州	19.6%	3,537	18.6%	3,229	-308	(-8.7%)
欧州	13.2%	2,371	13.1%	2,259	-112	(-4.7%)
内、中国	12.6%	2,260	12.1%	2,095	-165	(-7.3%)
アジア他	26.9%	4,843	26.0%	4,491	-352	(-7.3%)
海外	59.7%	10,751	57.7%	9,979	-772	(-7.2%)
合計	100.0%	17,998	100.0%	17,284	-714	(-4.0%)

24

設備投資、減価償却費

(単位：億円)



年度	3Q			9ヶ月			通期		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメージング	24	16	29	62	67	87	94	106	
ヘルスケア&マテリアルズ	102	112	146	273	300	412	427	505	
ドキュメント	37	32	31	119	79	77	138	117	
コーポレート	4	15	3	9	19	11	16	26	
設備投資 ※	167	175	209	463	465	587	675	754	900
イメージング	33	36	38	98	106	108	133	141	
ヘルスケア&マテリアルズ	146	159	169	428	456	474	575	631	
ドキュメント	153	122	100	409	377	318	547	501	
コーポレート	5	7	6	18	17	18	21	26	
減価償却費	337	324	313	953	956	918	1,276	1,299	1,280
有形固定資産の減価償却費 ※	166	175	178	494	509	512	665	709	

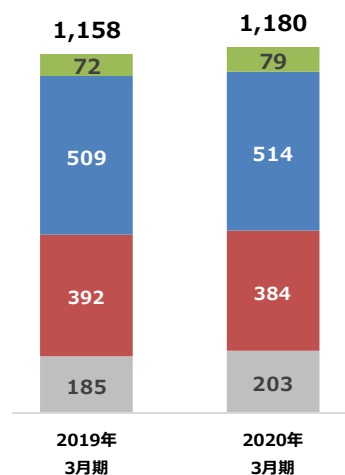
※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

- イメージングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

25

研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（9ヵ月）



- イメージング ソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション
- ドキュメント ソリューション
- コーポレート

(単位：億円)

年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
イメージング	23	24	72	79	99	
ヘルスケア&マテリアルズ	159	166	509	514	698	
ドキュメント	120	126	392	384	512	
コーポレート	61	67	185	203	252	
研究開発費	363	383	1,158	1,180	1,561	1,550
<売上高比>	5.8%	6.4%	6.4%	6.8%	6.4%	6.5%
販売費及び一般管理費	1,568	1,516	4,803	4,535	6,316	
<売上高比>	25.0%	25.4%	26.7%	26.2%	26.0%	

26

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2019年3月期						2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
米ドル	109	111	113	111	110	111	110	107	109	109	109
ユーロ	130	130	129	129	125	128	123	119	120	121	121

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2019年3月期						2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
銀	58	54	53	55	55	55	53	57	60	57	59

人員

(単位：人)

	2018.12末	2019.3末	2019.6末	2019.9末	2019.12末
連結	74,425	72,332	72,358	72,842	73,092

27

2020年3月期 セグメント別業績予想 (2020年2月6日時点)

(単位: 億円)

売上高	2019年 3月期	2020年 3月期 前回予想	2020年 3月期	対前年度		対前回予想
イメージング	3,869	3,700	3,500	-369	(-9.5%)	-200
ヘルスケア	4,843	5,200	5,050	207	(+4.3%)	-150
マテリアルズ	5,547	5,450	5,300	-247	(-4.5%)	-150
ヘルスケア&マテリアルズ	10,390	10,650	10,350	-40	(-0.4%)	-300
ドキュメント	10,056	10,000	9,850	-206	(-2.0%)	-150
合計	24,315	24,350	23,700	-615	(-2.5%)	-650

*セグメント間取引消去後

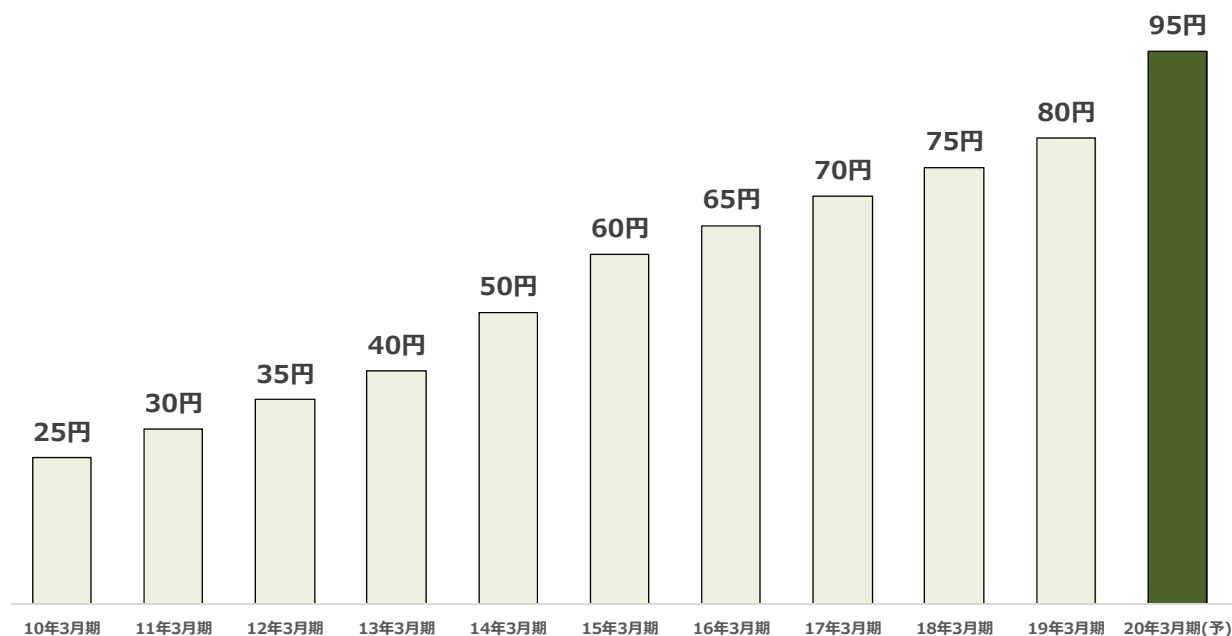
営業利益	2019年 3月期	2020年 3月期	2020年 3月期	対前年度		対前回予想
イメージング	511	400	350	-161	(-31.5%)	-50
ヘルスケア	333	480	430	97	(+29.1%)	-50
マテリアルズ	643	710	610	-33	(-5.1%)	-100
ヘルスケア&マテリアルズ	976	1,190	1,040	64	(+6.6%)	-150
ドキュメント	964	1,190	1,190	226	(+23.4%)	0
全社/連結調整	-353	-380	-380	-27	-	0
合計	2,098	2,400	2,200	102	(+4.8%)	-200

28

株主還元

■ 配当金

2020年3月期の配当金は、10期連続増配となる対前年15円増配の95円/株を予定



29

パイプライン (2020年2月6日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
			米国	Ph III
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	日本	Ph III
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認済み
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
	欧州		Ph II	
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	バイオ 進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph II
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I / II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリボソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トボテカンリボソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

※T-2307は2019年11月にAppili Therapeuticsへ導出しました。

30

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

富士フィルムホールディングス 統合報告書2019

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

・事業説明会資料

- 2019年 1月 医薬品・バイオCDMO・再生医療事業説明会
- 2019年 2月 ESG説明会
- 2019年 11月 バイオCDMO事業説明会

富士フィルムってどんな会社？

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://brand.fujifilm.com/neverstop/jp>

31

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<https://holdings.fujifilm.com/ja>